

わがまち再発見!!

シリーズ 文化財の紹介

対馬市教育委員会 文化財課

0920(54)2341

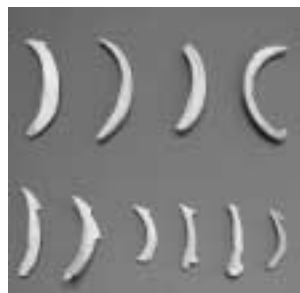
イノシシとシカ

イノシシとシカは対馬にいつ頃から生息していたのか、確かなことは分かっていません。縄文中期後半（今から約5000年前）ごろには両獣が生息していた可能性はありますが、確実に生息していた年代となると縄文後期（今から4500年ごろから3300年前）になります。峰町の東海岸、佐賀に佐賀貝塚があります。縄文中期後半から縄文後期にいたる遺跡です。この遺跡からイノシシの牙で作った釣り針、シカの角などで作ったもりなどが出土していますので、両獣の狩猟が行われていたことがわかります。

丸となって、落とし穴にイノシシが掛かるように追い込みます。イノシシの狩猟については、古代、中世の資料にはほとんど具体的な記載がないといわれています。幼獣（2歳未満）は弓矢での狩猟は可能だったでしょうが、成獣にいたっては弓矢では対抗できません。獵犬、石斧、棍棒などが使用されたはずですが、弥生時代後期、イノシシに変わる動物として日本列島の各地でブタが飼育されます。輸入されたブタであるとうと推測されています。縄文時代から伝統的にイノシシの栄養価が高く珍重されていたことがわかります。16世紀、鉄砲が日本に伝来してからイノシシの狩猟法が確立されてきます。

古代の「狩り」と言えばシカをさしていました。弥生時代、シカは土地の精霊としてあがめられていましたが、古墳時代になるとシカへの認識が変わり、狩猟の対象となってきました。その土地のシカを狩ることは、土地の領有を主張することになったわけですね。

夏、古代から中世にかけて伝統的なシカの狩猟法がありました。「照らし」といって、夜、山森の中で松明を焚き、明かりに誘われる習性があるシカをおびきよせる猟です。明かりに反



イノシシの牙で作った釣針

射する獣の目をみてシカか他の獣か判別したということです。ほかに「犬やま、犬がけ獵へ犬を山野に放ち獸を追い込む獵」・「おし獵」（重石で圧迫死させる）・「シカ笛獵」（牝シカの鳴きまねを使って牡シカをおびき寄せ）があります。また武家が好んだ狩猟に「巻狩」があります。大勢の勢子と犬を使い、山野から獸を獵場に追い出し、狩をする方法です。有名なものとして源頼朝、徳川家康の「富士の巻狩」があります。対馬でも15世紀後半、朝鮮人高官を接待するため巻狩を行っていますが収穫はなかつたようです。なお、現代の狩猟法では前に記した狩猟はすべて禁じられています。

つしま図書館情報

つしま図書館 0920(52)3900

10月の休館日

休館日 つしま図書館の日 (5周年おはなし会)

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

つしま図書館の日がやってきます!

毎年10月の第3土曜日は、「つしま図書館の日」です。

今年開催は10月15日(土) 13:00~15:00。

DVDの映写会、読み聞かせなど盛りだくさんの企画で

お待ちしております。どうぞお楽しみに!!

今月のおすすめ新着本

『私のいない高校』

青木 淳悟 / 著

カナダからの留学生(でも英語が苦手)を受け入れた、とある高校での数カ月。描かれるのは至ってツウの学園生活のはずなのに、何かがヘン…。物語という概念を覆す、「主人公のいない」青春小説。『群像』掲載を単行本化。

『10代の子をもつ親が知っておきたいこと』

水島 広子 / 著

いじめ、不登校、うつ病…。思春期の問題行動や心の病には、「自尊心」の低さがひそんでいる。対人関係療法の日本における第一人者である精神科医が、「自尊心」と「コミュニケーション力」の高い子どもの育て方を教える。

『かわいいお取り寄せ』

甲斐 みのり / 著

家族や友人のお茶の時間や、手土産、贈りものにぴったりな、お取り寄せできるお菓子と飲みものを紹介。お店のデータや注文方法も掲載。『雑貨カタログ』連載を書籍化。

『ハッピー・フレンズ』

佐川 芳枝 / 著

ダンスにかくされた友情のものがたり。瑠衣ちゃんは小学校4年生。お父さんのもとにある女性が人形制作を頼みに来たことで、運動会で踊るダンス「ハッピー・フレンズ」の意外なひみつを知ることになる。

『ぼくって王さま』

アンネ・ヴァスコ / 著

おにいちゃんのたいせつなことからもったぬいぐるみネコのイエロナ。おにいちゃんの王さまライオンとしていつもずーっといっしょだったのに、このごろちょっともおそんでもらえない。ほくはここだよ…。フィンランド2011ルドルフ・コイプ賞受賞絵本。

『おやすみまえのお話366』

西東社 / 編

思わずわらってしまうゆかいなおはなし、よむとやさしいきもちになれるおはなし、ハラハラドキドキするぼうけんのおはなし、読むとちょっぴりためになるおはなしなど、おやすみ前に読んであげたらいかがでしょうか?